

学校だより

夢をもち ともに学び 思いやりあふれる 池田の子
指宿市立池田小学校 令和3年度 10月号



「共生社会」へ～パラリンピックから学んだこと～

校長 山本 省吾

「私のことを理解して一緒にチャレンジしてくれた仲間がたくさんいた。この競技は1人では走れないけど、みんなとならできるということを教えてくれる。」

これは、東京パラリンピック、陸上女子マラソンの視覚障害（T12クラス）で金メダルを獲得した道下美里選手の言葉です。銀メダルだったリオデジャネイロ大会のあと「絶対に忘れ物を取りに行く」と誓った道下選手は、悔しさをバネに、見事金メダルをつかみ取りました。

8月下旬から9月上旬にかけて、13日間に及ぶ東京パラリンピックが開催されました。今回は様々な種目をテレビで観戦することができ、大きな感動をもらい、胸を熱くされた方もたくさんいるのではないかと思います。

国際パラリンピック委員会（IPC）は、パラリンピックに出場するアスリートたちが持つ力こそがパラリンピックを象徴するものであるとし、次の4つの価値を掲げています。

- ＜勇 気＞ マイナスの感情に向き合い、乗り越えようとする精神力
- ＜強い意志＞ 困難があってもあきらめず、限界を突破しようとする力
- ＜インスピレーション＞ 人の心を揺さぶり、駆り立てる力
- ＜公 平＞ 多様性を認め、創意工夫をすれば誰もが同じスタートラインに立てることに気づかせてくれる力

選手たち一人ひとりの頑張る姿は、正にこの言葉通りでした。人間の可能性を感じさせてくれるとともに、共に生きることの大切さも学ばせてくれました。

道下選手は、レース前から自分には「世界一の伴走者」がいると語っています。練習拠点の福岡には10人以上の伴走者がいるそうです。

今回、後半の伴走を担当したのは志田淳さん。大学時代には箱根駅伝出場経験もある方です。ゴールした後、二人で抱き合い喜びを分かち合う姿が印象的でした。また、道下選手は表彰式で渡された金メダルを自分でかける前に、前半の伴走者である青山由佳さんに向けようとしていました。支えてくれる仲間、共に戦ってきた仲間への感謝の気持ちを表す感動的なシーンでした。

パラリンピックは、多様性を尊重し合う「共生社会」の意義を訴えかけています。共生社会とは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会のことです。

「共生」について子どもたちと一緒に考えていきたいという思いを新たにしたパラリンピックでした。

～運動会に向けて「結団式」～



9月7日（火）朝の時間、運動会に向け、結団式を行いました。今年度も、学校単独での開催となります。応援団長は、赤組が野元颯介さん、白組が井元あかりさんです。みんなをまとめ盛り上げてくれることでしょう。

～実りの秋に向けて～



出校日に草を取ったり、ジャンボタニシを退治したりし、蓑田さんのご協力のおかげで田んぼの稲穂も頭を垂れつつあります。防鳥テープで雀から守り、収穫を迎えたいです。

～資源回収・美化作業(お礼)～

9月26日（日）、予定していた作業を無事に終えることができ、運動会を気持ちよく迎えられそうです。たくさんのご協力、本当にありがとうございました。

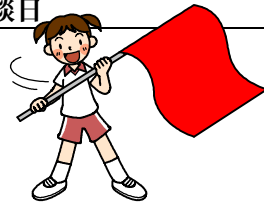
★10月の行事予定★

〔10～11月 校内教育相談月間〕

1日（金）～ 7日（木）全国労働衛生週間

26日（火）～29日（金）教育相談日

- 1日（金）心の教育の日
- 3日（日）秋季大運動会
- 4日（月）運動会振替休日
- 5日（火）視力・発育調べ
- 8日（金）第2回学校運営協議会（3校合同）
- 15日（金）PTA交通指導
- 19日（火）食育の日
今和泉小との交流学习（全校児童）
- 23日（土）親子読書の日・ノーメディアデー
- 28日（木）第3回PTA役員会



10月の行事から

○ 今和泉小との交流学习 19日（火）



昨年度2月（全校児童）、本年度5月（3・4年）に引き続き、全校児童での交流学习になります。交流を重ねる毎に友達も増え、子どもたち、とても楽しみな様子です。

10月の生活目標

（生活）ちくちく言葉を減らし、

ふわふわ言葉を使おう

（保健）目のはたらきを知り、たいせつにしよう

（安全）廊下や教室では静かにしよう



教育相談員中野先生来校日 10月20日（水）